

H C - 2 0 0 6 - 0 7  
2 0 0 6 . 0 9 . 1 5阪急電鉄株式会社  
Hankyu Corporation

広 報 部

〒530-8389 大阪市北区芝田1-16-1  
TEL06-6373-5092 FAX06-6373-5670

E-mail : koho@hankyu.co.jp

東京統括室

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-5-2  
TEL03-3503-1568 FAX03-3508-0249

おかげさまで70年！

## 神戸市内への高架延伸70周年を記念した鉄道グッズを発売します

阪急電鉄では、神戸本線が三宮まで高架により延伸されてから、本年4月で70年を迎えたことを記念した、オリジナル鉄道グッズを発売いたします。

神戸本線が開通した当時の終点は、現在の神戸市立王子動物園の約600m西方に位置した「上筒井駅」でした。その後、大阪と神戸の中心を直結する必要から、1936年に高架により延伸するとともに新設した「神戸駅（現在の三宮駅）」へ乗り入れるようになってから本年で70周年を迎えました。

この三宮への高架延伸70周年を記念して、その当時、当社を代表する最新鋭車両として神戸線で運転されていた「920系車両」をデザインした車両模型「鉄道コレクション・阪急920系」と、この延伸とともに開設された「神戸駅（現在の三宮駅）」を建築模型で再現し商品化した「神戸市内高架延伸線開通70周年記念【阪急神戸駅】」を限定発売いたします。

詳細は次のとおりです。

### 「鉄道コレクション・阪急920系」について

1. 商品名 「鉄道コレクション・阪急920系」

2. 商品の概要 阪急電鉄920系車両をモデルにした鉄道模型  
(2両編成・車両ディスプレイ用レール付)

玩具メーカーの株式会社トミーテックが開発し、全国のコンビニエンスストアなどで発売する模型で、鉄道模型の共通規格であるNゲージサイズ(実物の150分の1)でリアルに再現しています。同社のこの商品には「鉄道」と「バス」のシリーズがあり、中には在庫が無いものがあるほどの人気を誇っています。なお、2両編成による特別限定版で発売するのは当社が初めてです。

3. 発売開始日 2006年10月14日(土)

[10月7日・8日に、東京・日比谷公園で「鉄道の日」実行委員会の主催により開催される  
「第13回鉄道の日記念イベント」の会場に出展の阪急電鉄ブースでは当商品の先行発売を  
実施します。]

4. 発売個数 限定10,000個

5. 主な発売場所 (1) 阪急電鉄駅サービスセンター(初発より発売)

(梅田・十三・塚口・西宮北口・夙川・三宮・豊中・石橋・  
川西能勢口・宝塚・淡路・茨木市・高槻市・桂・河原町・北千里)

(2) 梅田駅インフォメーションギャラリーほか

上記以外の発売場所につきましては、別途お問い合わせください。また、通信販売は行いません。

6. 発売価格 1,800円(税込)

7. お問い合わせ先 お客様からのお問い合わせ先には

阪急梅田駅テレホンセンター TEL. 06-6373-5290

をご案内いただきますようお願いいたします。



### 「神戸市内高架延伸線開通70周年記念【阪急神戸駅】」について

1. 商品名 「神戸市内高架延伸線開通70周年記念【阪急神戸駅】」
2. 商品の概要 神戸線の三宮延伸とともに開設した「神戸駅（現在の三宮駅）」の建築模型  
「神戸市内高架延伸線開通70周年記念【阪急神戸駅】」は、精密模型メーカーの株式会社ディディエフ（DDF）の協力のもと、実物の150分の1のサイズで「神戸駅（現在の三宮駅）」を再現し商品化したものです。また、今回は限定500個の発売を行いますが、その一つひとつに「001から500までのシリアルナンバー」が刻まれています。
3. 発売開始日 2006年10月14日（土）
4. 発売個数 限定500個（シリアルナンバーは選択できません）
5. 発売場所  
(1) 阪急電鉄駅サービスセンター（初発より発売）  
(梅田・十三・塚口・西宮北口・夙川・三宮・豊中・石橋・川西能勢口・宝塚・淡路・茨木市・高槻市・桂・河原町・北千里)  
(2) 梅田駅インフォメーションギャラリー  
(3) 阪急百貨店・うめだ本店 8階 鉄道模型売場  
上記以外の発売場所につきましては、別途お問い合わせください。また、通信販売は行いません。
6. 発売価格 13,000円（税込）
7. お問い合わせ先 お客様からのお問い合わせ先には  
阪急梅田駅テレホンセンター TEL. 06-6373-5290  
をご案内いただきますようお願いいたします。

以上

- 【添付資料】 「鉄道コレクション・阪急920系」写真（イメージ）  
「神戸市内高架延伸線開通70周年記念【阪急神戸駅】」写真（イメージ）
- 【ニュースリリース配布先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ



「鉄道コレクション・阪急920系」写真（イメージ）

#### 阪急電鉄920系車両について

920系車両は、1934年（昭和9年）から1948年（昭和23年）にかけて神戸線の車両として、6次にわたり56両が建造されました。設計は900形を基本と/or>していますが、阪急では初めてMc（制御電動車）-Tc（制御車）の2両固定編成での建造となりました。その他の特徴としては、車両間の中間貫通路が広幅タイプになり、車内のすべての座席がロングシートとなったことです。また、モーターは170kWの当時最大を誇り、梅田 - 神戸（現在の三宮）間を25分（途中 西宮北口に停車）で運転するなど、「快速阪急」のイメージを確立したのもこの車両の登場によるものです。その活躍の後、920系は1982年（昭和57年）にすべての車両が廃車されました。



「神戸市内高架延伸線開通 70周年記念【阪急神戸駅】」写真（イメージ）

#### 阪急神戸駅（現在の三宮駅）について

神戸駅（現在の三宮駅）は、1936年（昭和11年）4月1日に西灘駅（現在の王子公園駅）から2.2km延伸した場所に「阪急神戸駅」として開業しました。しかし、この路線の延長にもかかわらず梅田までの所要時間については、それまでと同様の25分を確保し、「明るい高架・速い阪急！」をキャッチフレーズに、スピードアップを大々的にアピールしました。また、この駅と一緒にオープンした神戸阪急ビルは、大阪方面に地上5階、地下1階、さらにプラットホームを挟んで西側に地上3階、地下1階という構造で、当時としてはまだ珍しい冷暖房の設備やエスカレーターを備えていたほか、映画館、健康相談所、理髪店、レストランを設けるなど、モダンで美しく「まるでホテルのような駅」と話題を呼びました。この阪急神戸駅は1968年（昭和43年）の神戸高速線の開通により「阪急三宮駅」と改称し現在に至っています。なお、長年親しまれた神戸阪急ビルは、1995年（平成7年）1月17日に発生した兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）の影響により建物が全壊し、現在はその姿を見ることができません。